

山梨県立中央病院糖尿病内分泌内科の祢津昌広医師(35)は、内分泌代謝科専門医として、脳下垂体や甲状腺、副腎など内分泌臓器の病気の診断、治療に当たる。「内分泌の疾患は適切に

医療最前線 令和を担う

県立中央病院から

(181)

ルモンをつくり、健康維持の役割を担っている。そのため、内分泌臓器が異常をきたすとホルモンバランスが破綻し、さまざまな病気をもたらす。高血圧や糖尿病など「生活習慣病」と呼ばれる疾患の中にも、内分泌の病気が潜んでいるケースが少な

糖尿病内分泌内科・祢津昌広医師

難治の高血圧、劇的に改善

視野が広がった」と振り返る。

くない。

とができる」。

国内に4300万人いるとき、近年は健診を契機に見つかることも多いという。「血圧が下がりにくい人は、内分泌疾患が原因の可能性もある。一度、医療機関に相談してほしい」と呼び掛ける。

同大助教を経て、2017年12月から県立中央病院勤務。同病院は、CT(コンピュータ断層撮影)検査やMRI(磁気共鳴画像装置)検査、核医学検査など、適切な診断をするための設備が整い、他院からの紹介も多い。地域の医療機関と連携を取り、山梨の患者さんのより良い健康のために貢献したい」

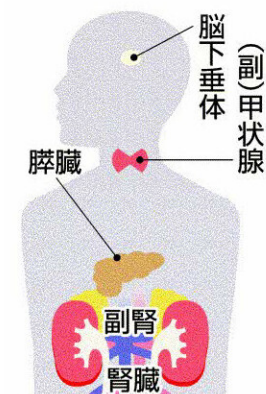
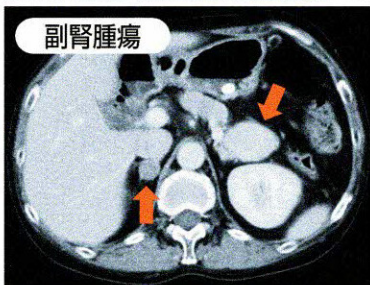
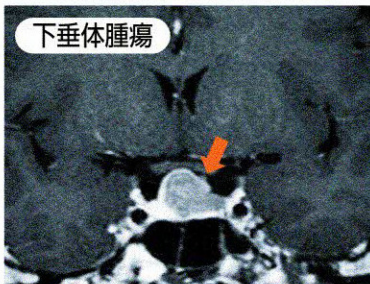
同大助教を経て、2017年12月から県立中央病院勤務。同病院は、CT(コンピュータ断層撮影)検査やMRI(磁気共鳴画像装置)検査、核医学検査など、適切な診断をするための設備が整い、他院からの紹介も多い。地域の医療機関と連携を取り、山梨の患者さんのより良い健康のために貢献したい」

内分泌臓器は、さまざまなホルモンの原因でホルモンが過剰に分

び掛ける。

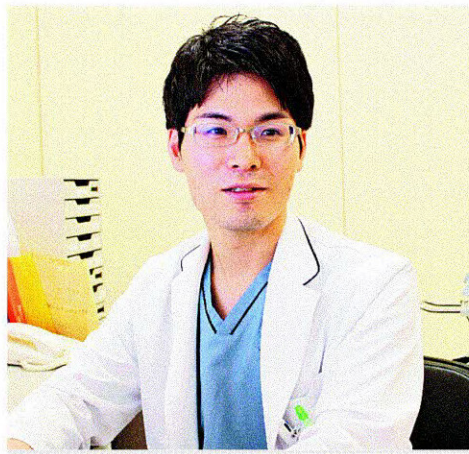
同大助教を経て、2017年12月から県立中央病院勤務。同病院は、CT(コンピュータ断層撮影)検査やMRI(磁気共鳴画像装置)検査、核医学検査など、適切な診断をするための設備が整い、他院からの紹介も多い。地域の医療機関と連携を取り、山梨の患者さんのより良い健康のために貢献したい」

内分泌異常を起こす腫瘍



体の中の内分泌臓器
さまざまなホルモンを作り健康を維持している
↓
内分泌疾患ではホルモンバランスが破綻しさまざまな病気をもたらす

内分泌内科 日常診療の裏に潜む内分泌疾患を適切に診断・治療する



ねづ・まさひろさん 2009年東北大学医学部卒。亀田総合病院での研修を経て12年同大大学院入学、16年修了。同大助教を経て17年から現職。総合内科専門医、内分泌代謝科専門医。甲府市出身。35歳。2児の父。

同大助教を経て、2017年12月から県立中央病院勤務。同病院は、CT(コンピュータ断層撮影)検査やMRI(磁気共鳴画像装置)検査、核医学検査など、適切な診断をするための設備が整い、他院からの紹介も多い。地域の医療機関と連携を取り、山梨の患者さんのより良い健康のために貢献したい」